

物流効率化法改正への対応に向け荷主CLOが実施すべき内容 (法規・ガイドラインなどを考慮し当社で整理)

KPI管理

KPI改善のための  
取り組み

1.~3.の  
実効性  
確保

ドライバーの  
負荷軽減

その他  
配慮  
事項

運送契約  
の適正化

1. 荷待ち時間の短縮	2. 荷役など時間の短縮	3. 積載効率の向上
4. 貨物の受渡しを行う場所の状況把握、出荷/納品時間の分散 (荷役場の停留車両台数の管理、トラック予約受付システムの導入、到着時刻表示装置の導入など) 5. 入出庫に関わる発注の早期化 6. 出荷を見据えた生産、荷造り	7. パレット、輸送用器具の導入 8. 標準仕様パレットの使用 9. 荷役などを省力化する貨物の荷造り 10. フォークリフト・人員の適切な配置 11. 貨物に係る情報の事前通知 12. 検査効率的のための機械の導入 13. 荷役場所の確保・環境整備 14. 返品条件の適正化 15. 入出荷業務のデジタル/機械化 16. 賞味期限の年月表示化(食品物流)	18. 配送の委託～貨物引き渡し/受け取り時間の確保(積み合わせ、共同化、帰路活用など) 19. 配車、運行経路の最適化 20. 出荷量/入荷量の適正化(物流効率に配慮した発注など) 21. 他部門(開発、生産など)連携 22. 第一種・二種荷主間の連携 23. 巡回集荷の実施
17. 物流施設の集約、新設、増設、改善		
24. 責任者選任、社内教育などによる体制整備		25. 荷待ち・荷役など時間の状況や取り組みの効果の把握
26. 取引先からの協議・提案への対応		28. 国、消費者、関係団体および関係事業者との連携
27. 貨物の流通に係るデータの標準化		29. ドライバーへの適切な情報伝達
30. ドライバーの休憩時間の確保*		33. ドライバーの集荷・配達地点への早期到着防止への配慮 (やむを得ない遅延に対するペナルティの見直しなど)
31. ドライバーの輸送距離短縮*		
32. 納品リードタイムが短い場合の物流負荷低減措置		
34. 異常気象時の運送中止*		35. 荷役作業における安全対策*
36. 運送役務の内容その他の事情に応じた適切な価格の設定*		40. 契約内容の見直し(過度な負担の改善)*
37. 燃料などのコスト上昇分の適切な転嫁*		41. 運賃・料金に係る物流事業者との協議
38. 運賃と料金の別建て契約*		42. 契約方法の書面化/電子化
39. 高速道路の積極的利用*		43. 多重下請を避ける配慮
		44. 物流事業者選任時の法令遵守状況などの考慮

● “KPI管理”：  
✓3つのKPIを把握し、改善のための取り組みを行う

2026/10から提出を求められると想定(特定事業者)

● “中長期計画”の提出：  
✓KPI改善の取り組みについての中長期計画の立案  
✓計画変更がない限り、5年に1度提出  
✓記載内容：  
・ KPI 3項目に関する実施措置  
・ 実施措置の具体的内容・目標  
・ 実施時期  
・ 参考事項

2027/7から提出を求められると想定(特定事業者)

● “定期報告”の提出：  
✓KPI改善を“含む”取り組みについての定期報告  
✓毎年報告  
✓記載内容：  
・ 判断基準の遵守状況(左図太字部を想定)  
・ チェックリスト形式を想定  
・ 関連事業者との連携状況などの判断基準と関連した取り組みに関する状況  
・ KPIの状況

太字：物流改正法条文の関連事項  
\*：貨物自動車運送事業法の関連事項  
(Gメン摘発リスクあり)

CLO：Chief Logistics Officer